令和8年度　公共事業再評価調書

社会資本整備重点計画	守る-9

1．評価シート

事業名	急傾斜地崩壊対策事業［急傾斜地崩壊対策事業（国補）］	事業箇所	韮崎市水神一丁目～二丁目、富士見ヶ丘一丁目～二丁目、本町一丁目、中央町

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H18 ～ H26	H18 ～ R8	H18 ～ R14
総事業費	900百万円	1,424百万円	1,979百万円
B/C	8.0	9.4	12.5

（1）事業の進捗状況・変更内容

①進捗率（事業費ベース）　※R8時点の値。実績は見込。

現計画　100%　実績　110.3%　変更計画　79.4%

②事業進捗（工事・用地）

これまでにエリア1、2及び4～10の工事が完了している。現在エリア3の工事を実施中であり、最終区間であるエリア11～エリア13の用地交渉を実施中。

③執行の見込み

現在着手しているエリア3について、計画に遅れが生じないよう工事進捗を図る。
エリア11～エリア13の未契約用地を取得し、計画的な工事発注を行うことで事業進捗を図る。

④変更内容とその理由

内容	事業費増減	変更理由
事業期間延長	ー	計画区間のほぼ全域で無地番地の処理に時間を要したこと、また、工法変更に伴う施工期間の増加により工期を6年間延長
法面工	555 百万円	労務費及び建設資材費の高騰による増額 地質調査及び詳細設計の結果、工法の変更が生じた。
	百万円	
	百万円	
	百万円	
合計	555 百万円	

路線（川）工区名	七里岩	事業主体	山梨県砂防課

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		事前評価時点	再評価時点
総事業費		900百万円	1,979百万円
工期		H18 ～ H26	H18 ～ R14
経済効率性	評価基準年	H17	R8
	B/C	8.0	12.5
	費用	773百万円	3,334百万円
	建設費	773百万円	3,334百万円
	維持管理費		
	便益	6,160百万円	41,773百万円
	一般資産被害	3,586百万円	7,337百万円
	公共土木施設等被害	1,365百万円	496百万円
	人身被害	1,209百万円	1,289百万円
	その他		32,651百万円

※その他は、間接被害軽減効果

営業停止被害、応急対策(家計)、応急対策(事業所)、応急対策(地方)、人的被害(精神損害)

（3）所管部の方針　見直し継続

本事業の完成により、市街地を形成する人家や公共施設の崖崩れに対する安全性が大きく向上することなどから、変更計画に基づき事業を継続する。

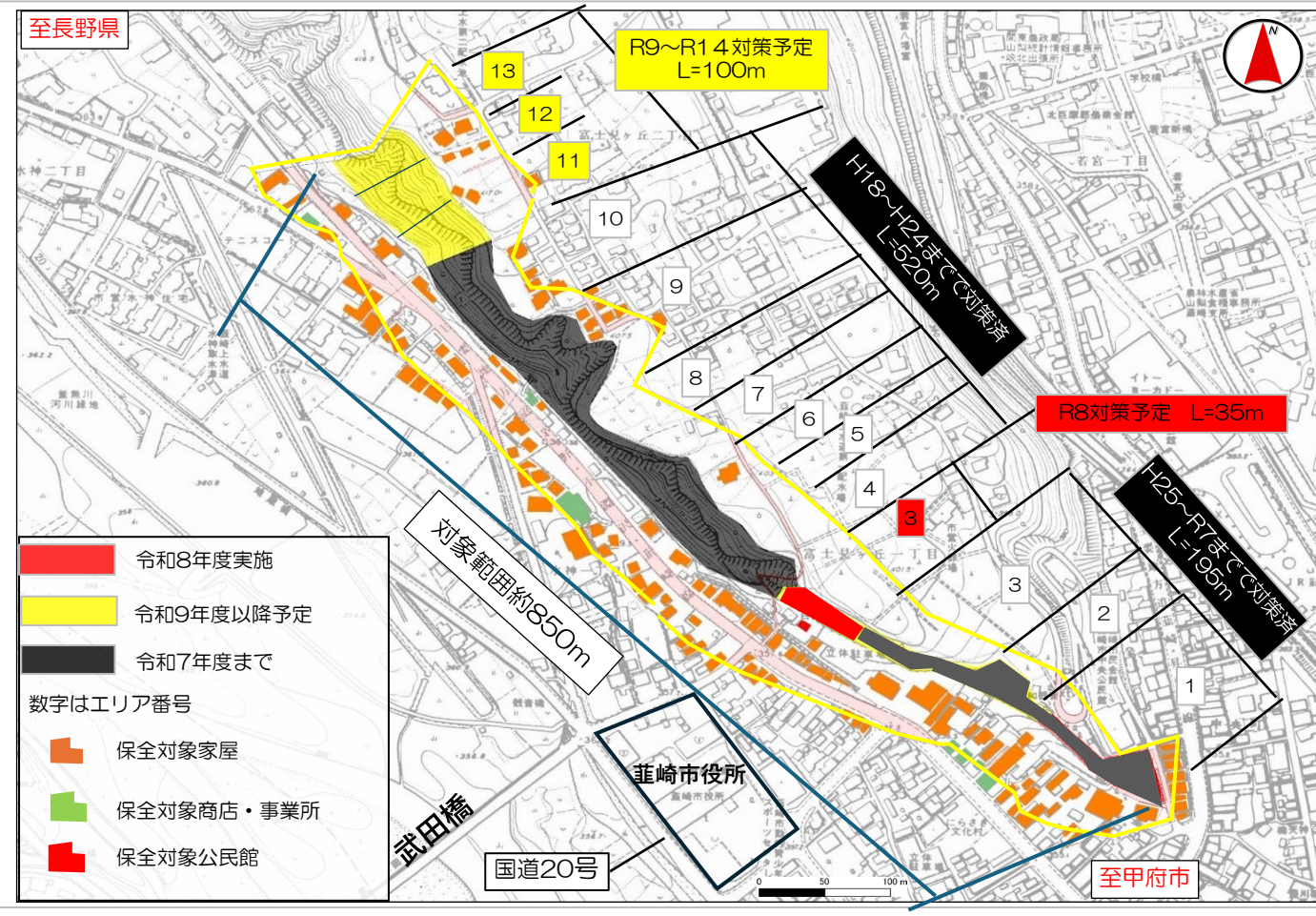
（4）変更履歴　有

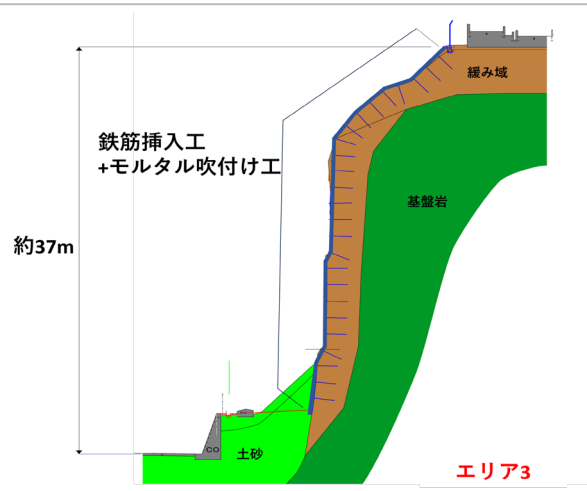
H28再評価：地質調査の結果に基づき対策工法の変更を行い、事業費を524百万円増額、事業期間を9年延長した。
R3再評価：事業費及び工期共に変更無し。県土整備部公共事業評価会議にて継続とし、公共事業評価委員会へ報告した。

２．評価シート（任意）

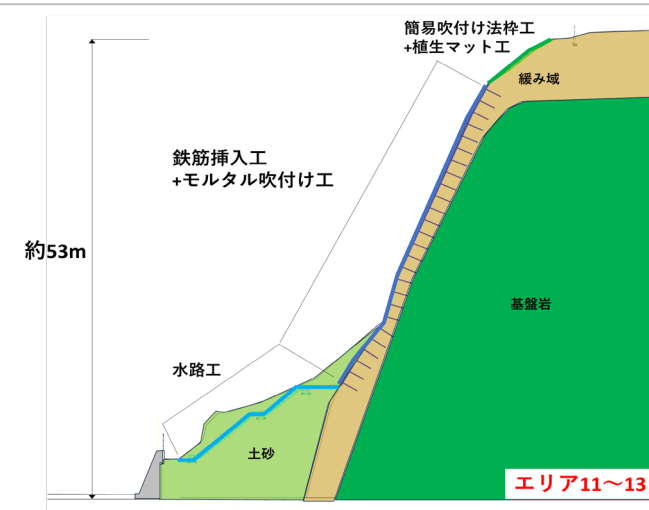
（５）事業を巡る社会経済情勢等の変化　有 （今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）	（９）事業概要の大幅な変化　無 （今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）
①地域・住民の意向状況 **②産業・経済情勢** 労務費・建設資材費の上昇 **③国等の方針** **④上位計画・関連事業計画等** 山梨県総合計画（令和5年10月策定） 山梨県強靭化計画（令和6年3月改定） 山梨県社会資本整備重点計画（第五次）（令和8年3月策定） **⑤自然環境条件等** 近年、局地的な集中豪雨が頻発しており、土砂災害の危険性が一層高まっている。 **⑥その他**	①事業の目的 ②目標・効果 主要目標 副次目標 副次効果 ③整備内容 ④特記事項（関連事業概要等）
（６）環境負荷等への配慮　無	
（７）コスト縮減の可能性　無	
（８）代替案立案の可能性　無	

３．添付資料シート（１）

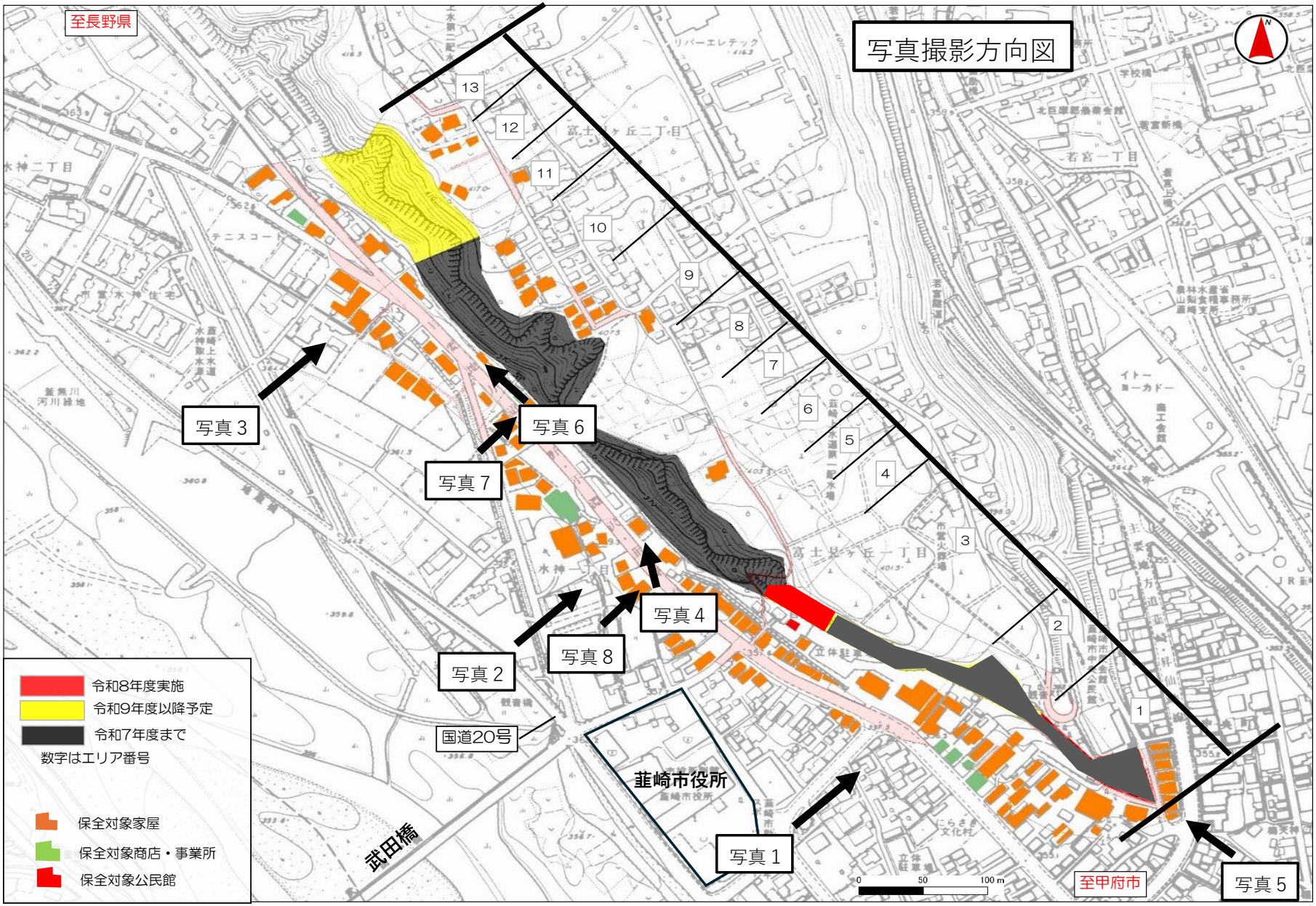




標準横断図



４．添付資料シート（２）


写真撮影方向図
至長野県
至甲府市
国道20号
武田橋
韮崎市役所
写真 1
写真 2
写真 3
写真 4
写真 5
写真 6
写真 7
写真 8
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
令和8年度実施
令和9年度以降予定
令和7年度まで
数字はエリア番号
保全対象家屋
保全対象商店・事業所
保全対象公民館
0
50
100 m

５．添付資料シート（３）



写真１



写真２

工法変更
エリア11～13



写真３





写真４

崩壊状況：エリア7（H16年10月20日）



写真５

崩壊状況：エリア1
（S47年5月20日）



写真６

対策状況：エリア4～6
植生マットエ（緑化）



写真７

対策状況：エリア9
切土補強土工，吹付工，
長繊維補強土工（緑化）



写真８

対策状況：エリア4～6
崩壊土砂防護柵

６．添付資料シート（４）

エリア11～13現計画　覆式落石防護網工

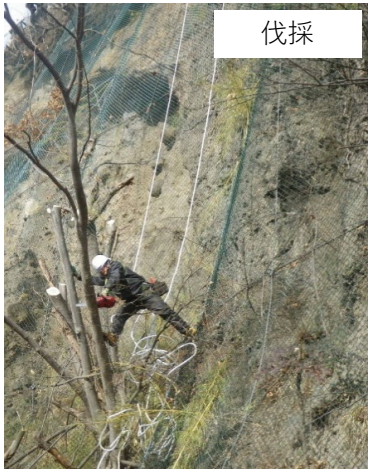


エリア11～13変更計画　モルタル吹付工＋鉄筋挿入工



エリア11～13変更計画　モルタル吹付工＋鉄筋挿入工　施工イメージ

参考　エリア1施工状況









【前回再評価調書】

令和3年度　公共事業再評価調書

1．事業説明シート

（区分）（国補）・　県単

事業名	急傾斜地崩壊対策事業［急傾斜地崩壊対策事業（国補）］	事業箇所	韮崎市水神一丁目～二丁目、富士見ヶ丘一丁目～二丁目、本町一丁目、中央町	地区名	七里岩	事業主体	山梨県

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H18年度～H26年度	H18年度～R8年度	～
総事業費	900 百万円	1,424　百万円	ー　百万円

（1）事業の概要

①事業目的及び効果

本地区は昭和45年～54年に急傾斜地崩壊危険区域に指定されており、斜面の傾斜度は60～90度、斜面の高さは30～60mで斜面直下には人家が連担している。平成14年には県道に土砂が流出し一時通行止め、H16年にも県道に土砂が流出しアパートも被災している。このような状況を受け、がけ崩れ対策として急傾斜地崩壊防止施設の整備を行うものである。

□主要目標　○崖崩れ被害の防止
　　災害実績：有、保全人戸数：128戸＞5戸以上※　　※評価基準値
　　重要公共施設：無
□副次目標　ー
□副次効果　被災時の被害波及の防止

②事業概要

計画延長　L=850m
現場吹付法枠工　A=11,000m2

③全体計画

		令和2年度まで	令和3年度（評価実施年度）	令和4年度以降
現計画	工事内容	測量・地質調査・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事 落石防護柵工事	測量・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事	用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事
	事業費	1,124　百万円	50 百万円	250 百万円
実績	工事内容	測量・地質調査・設計 用地補償 現場吹付法枠工事 落石防護柵工事	測量・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事	用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事
	事業費	1,224　百万円	20 百万円	180 百万円

※現計画欄は計画値。今回計画変更はないため、現計画と実績の比較とし、前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項（関連事業概要等）

なし

⑤これまでの評価状況（平成28年度再評価）

この事業の完成により、市街地を形成する人家や事業所の崖崩れに対する安全性が大きく向上することなどから、見直し案により事業を継続することが妥当である。

（2）評価項目［事業を巡る社会経済情勢等の変化］

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

・過去にアパートが全壊するなどの被害が発生しており、住民の防災意識が高く、早期対策の要望は強まっている。

②産業・経済情勢

なし

③国等の方針

なし

④上位計画・関連事業計画等

「山梨県総合計画」（令和元年12月）
「山梨県強靱化計画」（令和2年3月）
「山梨県社会資本整備重点計画-第四次-」（令和3年3月予定）

⑤自然環境条件等

近年、局地的な集中豪雨が頻発しており、土砂災害の危険性が一層高まっている。

⑥その他

（3）評価項目［評価時点の費用対効果分析］

項　目			着手時点	再評価時点	現時点
総事業費			900　百万円	1,424　百万円	1,424　百万円
工　期			H18 ～ H26	H18 ～ R8	H18 ～ R8
経済効率性	評価基準年		H17	H28	R2
	費用		773　百万円	1,580　百万円	1,694　百万円
		建設費	773　百万円	1,580　百万円	1,694　百万円
		維持管理費	百万円	百万円	百万円
		その他（　　）	百万円	百万円	百万円
	便益		6,160　百万円	6,357　百万円	15,886　百万円
		一般資産被害	3,586　百万円	4,818　百万円	3,510　百万円
		公共土木施設等被害	1,365　百万円	396　百万円	354　百万円
		人身被害	1,209　百万円	1,144　百万円	904　百万円
		その他※	百万円	百万円	11,117　百万円
	B／C		7.97	4.02	9.38

費用便益分析マニュアルにより算出　採択基準値1.0以上
※その他は間接被害軽減効果
※算出にあたっては、最新の条件により算出（国の費用便益分析マニュアルR3.1改定）

【前回再評価調書】

2.評価シート

（4）評価項目［これまでの計画変更等の概要］

・優先度の高いエリアについて詳細な調査設計を実施し、一部工法の変更を行った。
・計画区間のほぼ全域で対策斜面の前面に人家等が連担しており、作業ヤードに限りがあったことから、施工が非効率であった。このため進捗に遅れが生じ、工法変更、計画期間の延期をした。（平成28年度）

（5）評価項目［事業進捗状況及び見込み］

①進捗率

令和3年度進捗率（現計画）82%→（実績）88%
詳細は別表のとおり。

②進捗率実績が計画と相違している理由

計画どおり進捗。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
なし	百万円 増減	
なし	百万円 増減	
合　計		

④事業期間の変更理由及び進捗予定

予定どおり令和8年度完了見込みである。

⑤今後の事業執行における留意点

なし。

（6）評価項目［環境負荷等への配慮］

なし。

（7）評価項目［コスト縮減の可能性］

なし。

（8）評価項目［代替案立案の可能性］

なし。

（9）所管部の今後の方針

（継続） 見直し継続 ・ その他（　　）

（理由）
計画どおり進捗していることから、事業を継続し、令和8年度の完成を目指す。

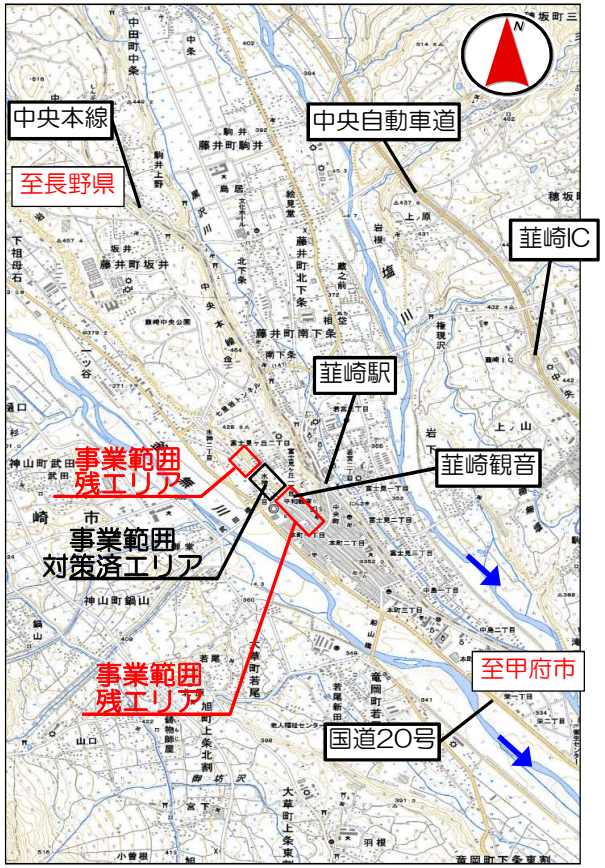
○別表-進捗率（事業費ベース）

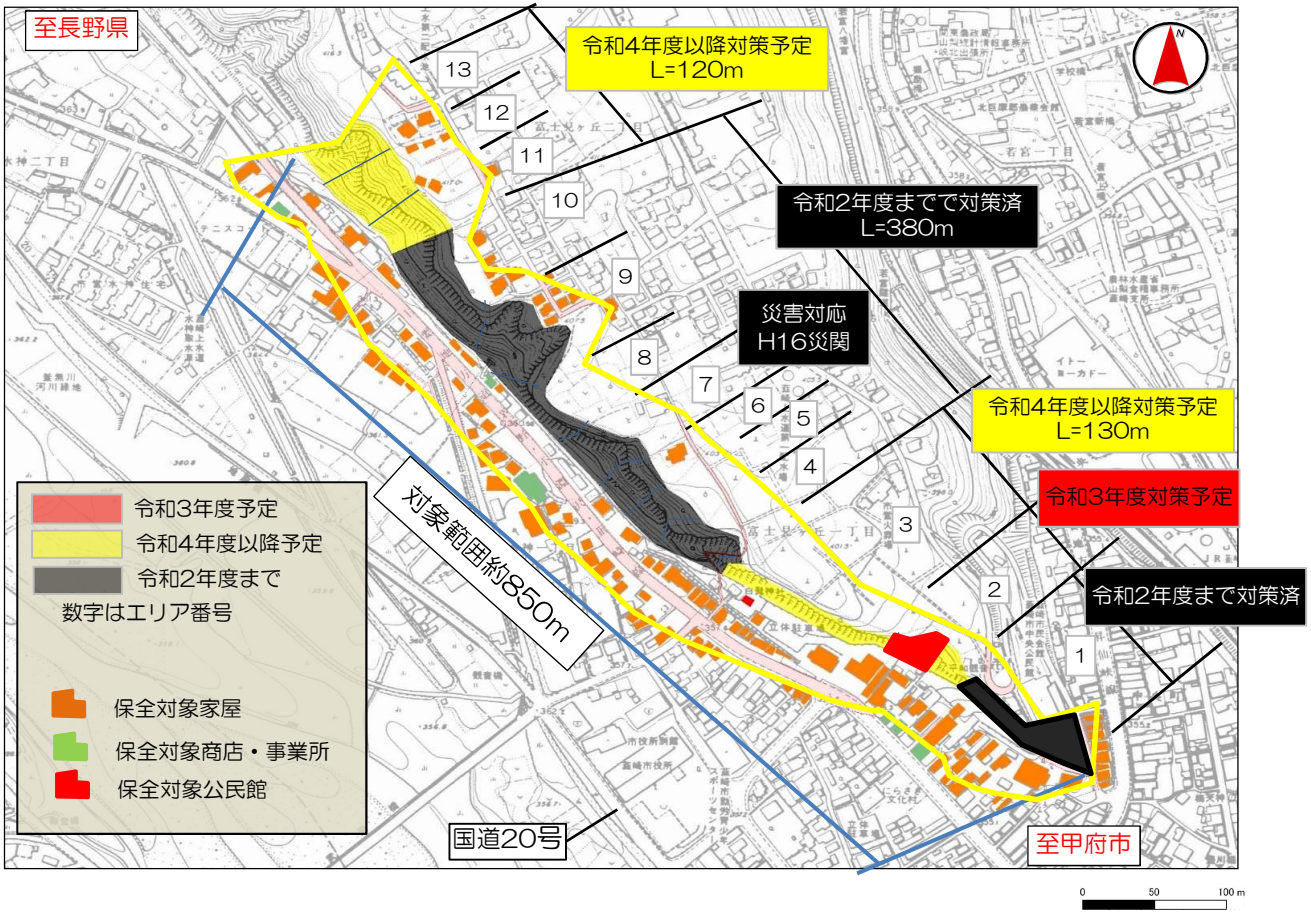
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100　【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100　【下段】現計画の予定　計画事業費／総事業費×100　　単位：%

	年度	*H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5	R6	R7	R8
現	計画	65%	68%	72%	75%	79%	82%	86%	89%	93%	96%	100%
	実績	65%	68%	71%	79%	86%	88%					
予定							88%	90%	93%	95%	98%	100%

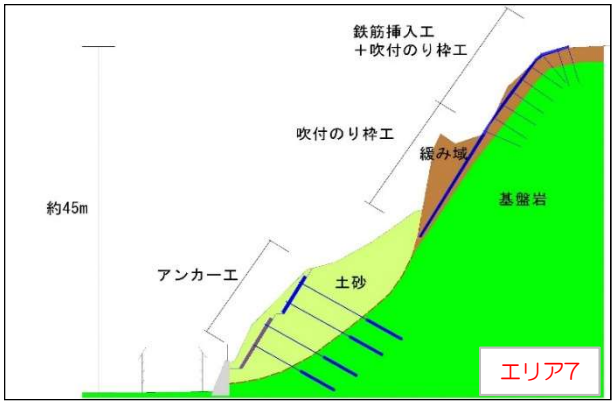
*事業着手年度又は評価年度
*R3年度の実績は見込み

【前回再評価調書】

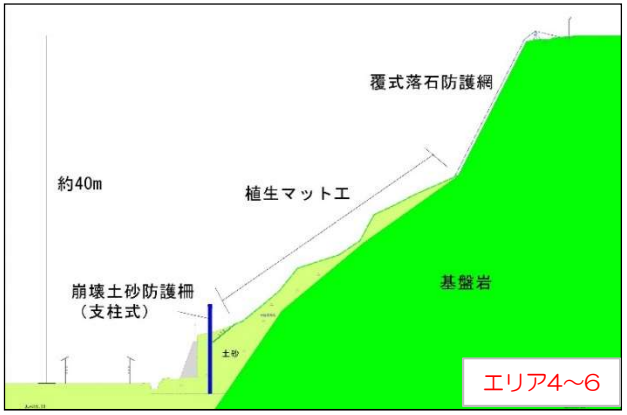




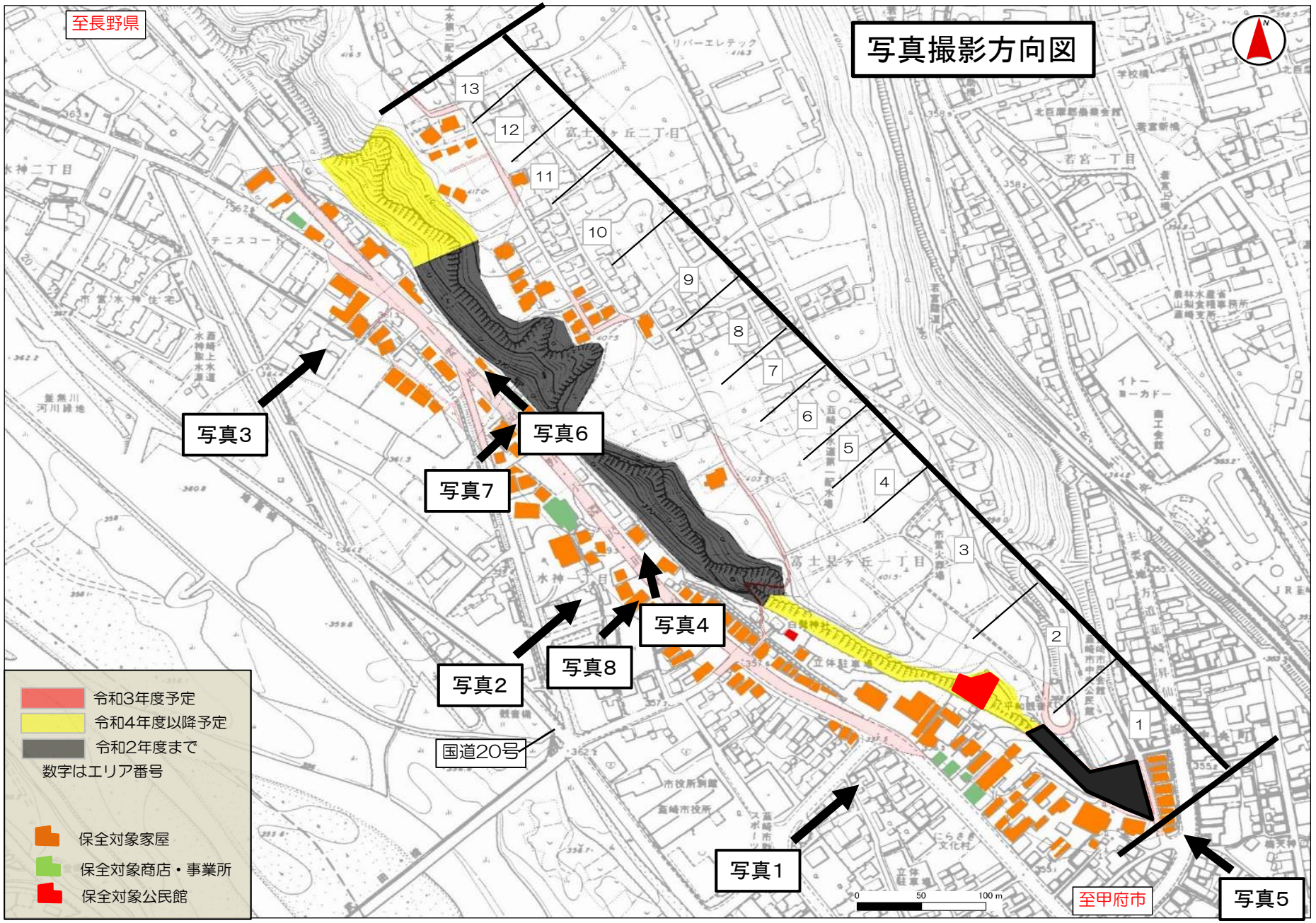
標準断面図



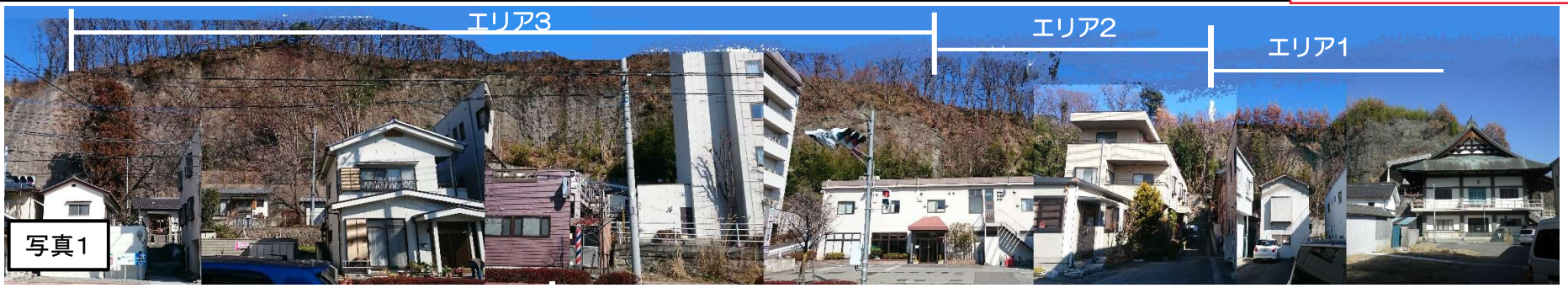
標準断面図



【前回再評価調書】


写真撮影方向図
至長野県
至甲府市
国道20号
写真1
写真2
写真3
写真4
写真5
写真6
写真7
写真8
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1
令和3年度予定
令和4年度以降予定
令和2年度まで
数字はエリア番号
保全対象家屋
保全対象商店・事業所
保全対象公民館
0
50
100 m

【前回再評価調書】





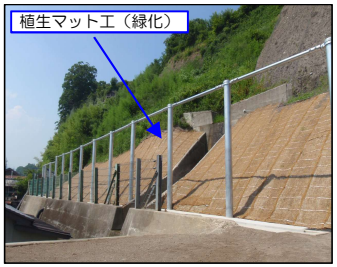




崩壊状況：エリア7（H16年10月20日）



崩壊状況：エリア1
（S47年5月20日）



対策状況：エリア4～6
植生マットエ（緑化）



対策状況：エリア9
切土補強土工，吹付工，
長繊維補強土工（緑化）



対策状況：エリア4～6
崩壊土砂防護柵

【前回再評価調書】

4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費（千円）	事業概要	進捗率（%）
H18	136,000	測量・調査・設計吹付法枠工A=607m2　落石防護柵工L=65m	10%
H19	95,000	測量・調査・設計吹付法枠工A=226m2　落石防護柵工L=57m	16%
H20	83,000	調査切土工V=4440m3　落石防止網工A=1240m2	22%
H21	88,000	測量・調査・設計切土工V=3000m3	28%
H22	45,000	切土工V=1500m3	31%
H23	108,000	切土工V=7200m3	39%
H24	71,000	切土工V=960m3　落石防止網工A=1800m2	44%
H25	49,000	崩壊土砂防護柵工L=24m	48%
H26	158,000	調査・設計崩壊土砂防護柵工L=108m	59%
H27	41,000	崩壊土砂防護柵工L=42m	62%
H28	45,000	吹付工A=1200m2　鉄筋挿入工N=270本	65%
H29	50,000	測量・調査・設計吹付工A=1000m2　鉄筋挿入工N=210本	68%
H30	40,000	吹付工A=600m2　鉄筋挿入工N=150本	71%
R1	115,000	切土補強土工500m2	79%
R2	100,000	測量・調査・設計切土補強土工500m2	86%
R3	20,000	切土補強土工300m2	88%
R4	36,000	切土補強土工500m2	90%
R5	36,000	切土補強土工500m2	93%
R6	36,000	覆式落石防護網工500m2グラウンドアンカー工（受圧板工）30基	95%
R7	36,000	覆式落石防護網工400m2グラウンドアンカー工（受圧板工）23基	98%
R8	36,000	落石防護柵工L=10m　排土工3000m3	100%
合計	1,424,000		